

《事業者向け》放課後等デイサービス評価表

公表日: 令和8年3月23日

事業所名: 佐賀整肢学園 在宅サポートセンターオークス 放課後等デイサービス ピクニック

		チェック項目				工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
		はい	どちら でもない	いいえ	未回答		
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%				
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			○利用される方が減ってきたので職員が多いくらいあり、その分厚い支援が来ている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	86%		14%		○区切られた空間がないので、特性のある児童に対しては配慮がないと感じる場面がある。 →個室の空間を作れるようにパーティションを活用していく。
	4	生活空間は清潔か。また、子どもたちの活動に合わせた空間になっているか	100%			○毎日朝掃除を徹底している。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	86%		14%		○デイサービスと共有の個室があるが、いつも利用されているので自由に使うことはできない。貸してもらいたいときは事前に伝えて使用している。
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	86%	14%			
	7	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	86%	14%			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	29%	57%	14%		
	10	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	86%	14%		○今年度は研修に行かせてもらう機会が多く、沢山学ぶことができた。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	71%	29%			
	12	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	86%	14%			
	13	放デイ計画の作成時、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援にかかわる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した見当が行われているか	86%	14%			
	14	放デイ計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	100%				○自分の担当している児童は計画を意識することが出来ているが、その他に対してもその意識が必要だと感じた。
	15	こどもの適応行動状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用するなどにより確	43%	29%	29%		○インフォーマルなアセスメントは行っている。

《事業者向け》放課後等デイサービス評価表

	チェック項目	どちらでもない				工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	いいえ	未回答			
適切な支援の方法	16 放デイ計画には放デイカイトラインの「放デイの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	86%	14%			○計画記載のところに項目が書かれているので、意識することが出来ている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか	86%	14%			○以前と比べて全員で立案を考える場があるので、負担が軽減されたように思う。	
	18 活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	86%	14%			○定期的に継続して行っている療育や季節の行事が楽しめるような療育の提案を行っている。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか	100%				○制作物は個別療育が多い。クッキング等は集団療育が多い。使い分けながら子どもに寄り添った支援を行っている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	71%	14%	14%		○学校時は10時ごろの朝の時間にミーティングを行っている。休日は、みんなが毎日閲覧する紙に書いて申し送りをする。また口頭でも伝えている。	○長期休暇は利用者が朝から来られるため、ゆっくり打ち合わせする時間を作ることが難しい。 →必ずその日のうちに申し送り表の裏に書いて、次の日口頭で伝える。または早く共有しないといけない場合はLINEで伝えていく。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	43%	29%	29%		○翌日にしっかり実施している。	○その日のうちに振り返りを行えていない。後日しっかり時間を取って行っているが忘れてしまっていることもある。
	22 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	86%	14%				
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し	86%	14%				
	24 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	71%	29%				
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか	86%	14%				
関	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	86%	14%				
	27 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	71%	14%	14%			
	28 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	86%		14%		○学校から情報をもらうことが難しい為、保護者から教えてもらっている。	○個人によっては、さらに密な関わりが必要。なので学校からもっと情報共有してほしい。

《事業者向け》放課後等デイサービス評価表

	チェック項目					工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
		はい	どちらでもない	いいえ	未回答		
係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	86%	14%				
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	86%	14%				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要などに応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか	57%	14%	29%			
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	29%	29%	43%		○ボランティアや実習生等との交流があり、夏祭りに参加してもらっている。 ○コロナ予防で地域保育園との交流がストップしている。	
	33 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	14%	14%	71%			○重心のニーズに合っていない。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%				○連絡帳にも記入するが、直接その日の詳しい姿など伝えるようにしている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラムや家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか		29%	71%			
保 護 者 へ の 説 明 等	36 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	71%	29%				
	37 放デイ提供の作成時、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか	86%	14%				
	38 「放デイ計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放デイ計画の同意を得ているか	86%	14%				
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	86%	14%				
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	14%	29%	57%		○行事への参加を促している。 ○夏祭りや秋祭りは保護者様にも参加してもらい、交流する機会を設けている。 →これからも継続していく。	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	86%	14%				

《事業者向け》放課後等デイサービス評価表

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%				○今年度よりインスタを開始し、行事の予定や子どもたちの様子を発信している。 ○ピクニック通信やインスタなどで活動の写真や様子を伝えている。	
43	個人情報に十分注意しているか	100%				○SNSでは子どもの顔と名前が一致しないように、写真をアップするときはダブルチェックを行い気を付けている。	
44	障害のある子どもや保護者の意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	86%	14%				
45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	43%	29%	29%			
46	事故防止マニュアル、緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	86%	14%				
47	業務継続計画(BPC)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	86%	14%				
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	100%					
49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の診断書に基づく対応がされているか	100%					
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか	71%	14%	14%			○児童の安全計画の策定が義務化されていることを周知できていなかった。防災担当のみならず、確認が必要だと思った。 →勉強会等を通して、安全計画の周知を行ってきたい。
51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知し	71%	14%	14%			
52	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	100%				○ヒヤリハットがあった場合は、報告し再発防止に努めている。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%					
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放デイ計画に記載しているか	100%					